

総務厚生常任委員会

出生数減などによる計画の見直し

3月8日に委員会が開催され、白鷹町子ども・子育て支援事業計画の見直し等について説明を受けた。

現況を踏まえ見直し

【概況】

今年度は、「子ども・子育て支援事業計画」の計画期間の中間年である。出生数や入所率等により、入所児童数の見込み等について見直しを行った。

質疑

ひがしね保育園の職員体制は

【委員】平成31年度から

ひがしね保育園で未満児保育を拡充するが、

職員の増員は。

【当局】社会福祉協議会では、障がい児への手

主な見直し内容

◆平成30年度の入所児童見込み数について、策定当時の見込み数から見直す。

区分	見直し	
教育(満3歳以上)	10人→12人	
保 育	(0歳)	56人→44人
	(1歳・2歳)	122人(据え置き)
	(3歳以上)	276人→269人

◆平成31年度は、ひがしね保育園の乳児受入のため、0歳及び1歳の入所児童が増えると見込む。

◆平成30年度からの子育て世代包括支援センター設置を見込む。



がんばっている保育士さん

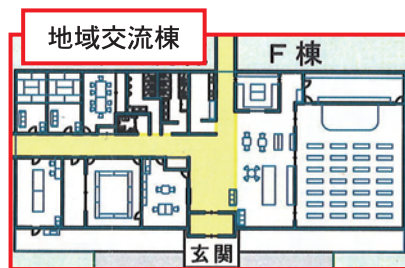


土日祝日の対応の充実を

厚い対応等も考え、すでに採用を行っている地域ニーズに即した体制ができるよう進めている。

施設概要

※特養長期の一部、特養短期、地域交流棟のみ抜粋して掲載しています。
※現時点の案であり、今後、変更となる可能性もあります。



地域との交流の場にも利用

施設の概要が示された

特別養護老人ホーム白光園の移転新築等について説明を受けた。

質疑

介護保険料への影響は

【委員】開設に伴い、介護保険料はいつから変わるのか。

【当局】開設は平成32年3月末の予定だが、平成30年度からの介護保険料の中に、この分を見込んでいる。



入居待ちが無いように

その他

○新地方公会計制度に基づく財務書類

○結婚支援（婚活）の状況

○第6次白鷹町総合計画基本構想の策定

○地区コミュニティセンターによる地域づくり事業の取組み

状況

などについて説明があった。